

進路講演会

3月3日（金）に「進路講演会」兼「平成28年度運動部活動の工夫・改善実施事業講演会」を実施しました。講師に旧北海道旭川凌雲高等学校OBで北海道新聞パラスポーツアドバイザー 永瀬 充 氏をお招きし、『夢をあきらめない～未来は自分でつくる～』をテーマにご講演いただきました。



講演の中で「高校1年生の時に神経の難病にかかり、手足が不自由になり、大好きなバスケットボールを続けられなくなり精神的につらい時期を過ごした。しかし、19歳でアイススレッジホッケーに出会って競技を始め、1998年の長野大会から4大会連続でゴールキーパーとして出場した。思うように結果が出せず、競技を断念することも考えたが、バンクーバー大会で日本勢として強豪を次々と破り、初のメダルを獲得した。この経験から『諦めなければ夢は実現できる』と生徒へ熱く語っていました。



生徒は、実際に銀メダルや競技用スレッジ、ヘルメット、ユニフォーム等に触れ、次期冬季パラリンピックへの興味関心を高めていました。



永瀬 充 様、お忙しい中ご講演いただき誠にありがとうございました。